

修練

一般社団法人にいがた北青年会議所

2013年度スローガン



実践躬行

～北区の明日（未来）に今できる事～
歴史と伝統・誇りを胸に

2013年度 7月号

6月例会

北区若手のための異業種交流名刺交換会



6月10日、新潟市北区松浜にある奥次郎にて、一般社団法人にいがた北青年会議所の6月例会と6月事業として『北区若手のための異業種交流名刺交換会』が行われました。

今回の事業では基調講演会として、イースパイア㈱の横田秀珠氏を講師に招き『Facebookを活用し商売に繋げる秘訣』と題し、近年発達しているSNSを商売に役立てる工夫などについて熱弁頂きました。

この例会・事業には、沢山のオブザーバーが参加頂き、にいがた北青年会議所のやっている事が、北区の若手に広く伝わる大変良い機会と相成りました。

会員かくだい委員会の皆様、お疲れ様でした。



横田秀珠 講師



名刺交換会・懇親会も盛り上がり、交流を深めました。



今村副理事長の謝辞、格好良かったです。次回も、木崎魂でビシッとお願いします。

新潟ブロック野球大会

6月2日、新潟ブロック野球大会が行われました。

我々、にいがた北青年会議所は、1回戦で昨年の覇者、糸魚川青年会議所と対戦して、理事長の奮闘もありましたが、残念ながら16対0という結果になってしまいました。是非来年こそは……



会員拡大会議



6月3日（月）豊栄商工会館にて、会員かくだい委員会が主催の会員拡大会議が行われました。当日はメンバー一人ひとりが発言して会員拡大に対する考え方について意見が述べられ、貴重な意見交換ができました。会員かくだい委員会を中心とした今後の会員拡大活動に本会議の内容が活かされることを期待します。

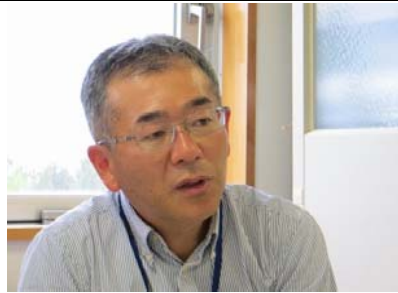
新潟ブロック協議会 第8回役員会議



6月11日（火）長岡屋にて、新潟ブロック協議会 第8回役員会議が行われました。会議開始に先立って開催地理事長として小林直人理事長が歓迎の言葉と北区の魅力伝える内容の挨拶を行いました。また、会議中の軽食として地元菓葉亭の「河川蒸気」が用意されました。

理事長対談2013

2013年度の理事長対談は地域で活動をしている団体の代表者からお話をお伺いすることにより、青年会議所として地域のために何が出来るのか、地域のニーズを探る企画です。第4回の対談者は、



水の駅「ビュー福島潟」
館長 高橋 光久 様



一般社団法人にいがた北青年会議所
小林直人 理事長



理事長 よろしくお祈りします。本日は福島潟そしてビュー福島潟と青年会議所の関係、そして今後のあり方を教えていただければと思います。

高橋氏 よろしくお祈りします。
理事長 聞いた話ですがOBの方々からビュー福島潟の形が出来たのに相当の尽力をされたというのを聞いています。過去と今を比べると今は、自然文化祭を中心に関わっているのですが、今後、特に青年会議所にしてもらいたいという事をお聞かせください。

高橋氏 豊栄青年会議所の時代から地域の社会貢献ということで、いろいろな活動をされてきたわけですね。それが今日につながっているのは誰しも認めるところです。特に中央堤防の桜並木、JCの先輩たちの功績をあとに継ぐ人たちに伝えていくと植樹の効果があつたのかなと思っています。そして時期的に桜と菜の花が一緒になることから写真スポットにもなっていますし、福島潟の魅力を大きくした一つの事業だと感じています。

高橋氏 今は活動の中心が自然文化祭ということになっていますけど、その前は田んぼアートですね。あの事業も集客にもつながりました。数千人のお客様が屋上まで行って有料入館者数につながりました。

理事長 田んぼアートは出来なくなりましたが、私達もやっていた北区外から北区をPR出来たと、本当にいい事業だったなと我々の中でJC談義をすると必ず話題に出てきます。今それに代わる物は何時やるの、という話にもなります。

高橋氏 JCの方たちがおこなった事業は少なからず周りの人間を巻き込んでますので、それで福島潟が全国的にも有名になってきているなか、大きな力になってくれると思います。ただ綺麗な自然があるだけではなく、そこに携わる人がどれだけ情熱を持っているかという所が大きいんだと思います。この福島潟の特徴は自分たちの故郷だという気持ちを持って、若い人達が取り組み、活動してきているその積み重ねがあるので、私も全国的に世界的に有名にしていきたいと思っています。

高橋氏 話は変わるんですが今、福島潟にはパワースポットがあると噂になっているんです！不思議だと思いついてみたら福島潟に来ると両思いになれると言うんです、片思いなら「潟を思い」でわかるんですがそこが不思議ですね。綺麗な景色のところもあるし文化的な所もあるんですが福島潟に来ると絆が深まるというんです。立ったときに先祖代々生活してきた水と土の戦いの中、色々苦勞してきて子孫のために田畑を作り耕して豊かになろうという気持ちが伝わってくるのかなと思います。

理事長 今、話を伺ってひとつ思ったのは静かなところでカップルが散策なり歩いていると気持ちが穏やかな状態で会話ができるスポットで、上手くいくパワーになっているのかなと思いますね。

高橋氏 福島潟の魅力はまだまだいっぱいあります。自然の景色はもちろん、まだまだ知らない植物もあります。その中には希少植物もあり、ボランティアの方たちが増やしていこうとしている物の一つで「サワオグルマ」というものがあります。黄色い花でちょうど菜の花が咲いた後に潟の湿地帯に咲くブーケのような花で、花言葉が「恋のたより」といいなかなかロマンチックな花なんです。その種をとってみんなで植えましようという事業も今年あります。もともと福島潟にある花ですが、数が少なくなってますのでいっぱい増やして、昔の福島潟、我々の祖先が見た風景を取り戻していきたいなと思っています。

理事長 花言葉「恋のたより」そして、パワースポットというのが結びつきますね、この話が広まっていけば、また新たな名所になりますね。



サワオグルマ
花言葉「恋のたより」



高橋氏 いろいろな活動が故里作りに繋がりますね！それからこんな話もあるんです。3.11大震災、原子力との関係で福島から避難されてる方が多いんですね。それで、福島から来た人達はこの福島潟という名前が非常に興味を持ったと、そしてこの地に来て癒されたと言う話を聞きます。聞いた話では、その子供達が「福島潟って福島の潟なの」って言うのでここは新潟だよって言う、「福島」と新潟の「潟」で一緒の所だねと言ったそうです。それを聞いて私は嬉しくなりましたね。被災地の避難されてる方が少しでもこの福島潟でちょっとでもふるさとに帰った気分になれるということが嬉しかったんです。

理事長 3.11以降、豊栄総合体育館始め近隣避難所に来た方達にとって、安心感を与えた場所になったんですね。

高橋氏 豊栄総合体育館で避難されている時に私も以前は総務課の災害の方担当していましたから、社協の方達そしてJCの方達が一生懸命に動いてくれたのを覚えています。被災を受けた人達をバックアップしていくのは地域の力だと思うんですね。決して被災地の人のためだけになくて、この北区の人達のためにも繋がっているんだなと思いますね。だからJCの方達の努力というのは未来に繋げていくものだなと思っています。

理事長 私達JCは明るい豊かな社会の構築を目指していますので、それが当たり前だと思ってやっています。私も長く活動しているのでそれが自然な事、地域のためボランティアも含め自然に取り組める、なぜなら地域に魅力があるから恩返し、という感覚なんですよ。今私達に出来るのは、地域の魅力を作りそれを発信する事です。そういう事を中心にやっていきたいと思っています。

高橋氏 そうですね。人の気持ちというのは、まず誇りをもつというのが大事だと思います。この地域っていい所だよ、そこに我々は住んでいるんだよ、というのが魅力ある北区そして、郷土愛に繋がっていくんですね。

理事長 やはり郷土愛、祭りがあって自然がありそこで育ってきたからこそ郷土愛が生まれていって、当然これだけ楽しい街なんだと思えば自然に行動を起こしてしまうのだと思います。

高橋氏 そうですね。そういった事の繰り返しが文化になっていくんですね。そして、私たちが今度は新しい文化、熱い文化を作っていかなければいけないんです。ここに住んでいる人々がいろんな力を合わせ育てていくと、より魅力があり発展していく事になります。

高橋氏 それでは、これからJCの方で何をするのかという話ですが、まずは関わることが大事で、地域に関わりながら社会貢献していく、その時は夢を持ってチャレンジして、それが10年後20年後になってようやく花が咲く事がありますから、そういった長いスパンで事業展開をしていけばいいのかなと思います。

理事長 私達は単年度制をとってますので、私も今年度理事長すれば来年度違います。そういった中で継続事業というものを目指す傾向もあります。継続事業の流れの中で福島潟だけは自然文化祭もやっていますので継続事業と呼べるのかなと、今のところ他にはありません。他の事業にはふゆっこ祭りやふれあいカーニバルというものはあるんですが、1人2人が出向という形で参加しているものです。

高橋氏 今年2月に福島潟フォトフェスタの時、小柳さんあと富澤さん他の方に関わってもらって、やはりイベントに慣れている所があって非常に我々助かりました。彼らには当日もモデルさん達の指示をもらいました。その時はカメラマンだけで2000人も来たんですよ。本当に反響が大きくてまたやって欲しいと言われました。モデルさんも地元の学生さんやOLさんもいたりして、コスプレで来てくれたんだけど、テーマがここ福島潟のお福さんという事で、皆さんお福さんになりきって下さいという事で、お福さんの資料をモデルさん達が読んで自分達なりのイメージをして来てくれたんですね。当日はプロのカメラマンさんも4~5人呼んでましたので、そのプロのカメラマンさんから指導を受けて福島潟のイメージに合うポーズをとってもらって着物で幻想的でした。

理事長 私も見ました。みんな見事になりきっているなと思いました。

高橋氏 その子供達も楽しかったようです、本当にいいイベントになりましたよと言われましたし、参加者の方にも良かったと言われ本当に感動しました。

理事長 ちなみにビュー福島潟は出来て何年位になりますか？

高橋氏 16年になります、平成9年6月竣工です。ただ福島潟周辺の治水工事、放水路も含めてその前から事業に取り組んでいました。それは、昭和41年42年の大洪水、羽越水害で豊栄地区が水浸しになったんです。それがきっかけで福島潟を干拓しよう、全部農地にする計画の福島潟を災害のおかげというわけではないんですが、半分残したんです。近年ここに来て放水力を高めるために80ha周辺の田んぼを購入して、福島潟の面積を193haだったものを271haに増やしたんです。そこまで福島潟の力を利用しようという風に考えたわけですね。これもまた将来に繋がる大きな事業なのかなと思いますね。

理事長 ある意味地域を守っているのは福島潟と言っても過言ではないですね。

高橋氏 その通り！だから特にこの葛塚地区は福島潟の力に守られている、だからそれを忘れてはいけないと思いますね。

理事長 それでは今日の対談をさせていただいたら、福島潟の話になると本当に話が尽きない不思議な魅力ある場所なんだと改めて思いました。そしてより一層、福島潟を広く発信していこうと思いました。

高橋氏 福島潟は大きな社会貢献の象徴だと思います。JCもそうだし自然とそういう気持ちになるんだと思います。頑張ってください期待しています。

理事長 本日はありがとうございました。

